

## 赤い郵便ポスト発祥の地



1901(明治34)年に誕生した赤色・円筒型・鋳鉄品の郵便ポストは、下関市南部町の「俵谷高七」により考案されました。

発明家「俵谷高七」は現在の南部町に居住し、指物師として生計をたてるとともに、郵便局の郵便作業用具の製作、改良に取り組んでいました。

そのかたわら、自動切手葉書販売機等の発明考案に没頭し、当時としては画期的な発明を次々と生み出していたのです。